

# タイトルをここに

情報 太郎<sup>1,a)</sup> プロシン 花子<sup>2,b)</sup>

概要：[概要（400 字程度）] 本テンプレートは，プログラミング・シンポジウム予稿集に掲載される原稿のためのスタイルファイルの使い方を示すものである．著者より提出された原稿は，ヘッダやページ番号が付加されて，B5 サイズにて製本される．そのため，スタイルファイルを使用した原稿は，通常よりも大きな余白がとられ，またページ番号等がつかない．印刷時の問題を避けるため，最終原稿の提出の際には，フォントの埋め込みを行ってください．

キーワード：プログラミング・シンポジウム，冬，予稿集

## 1. はじめに

本テンプレートは「プログラミング・シンポジウム予稿集」に掲載される原稿のためのクラスファイル (ipsjprosym.cls) の使い方について説明するものである．

プログラミング・シンポジウム予稿集の原稿は，印刷前にまとめてページ番号が振られ，B5 版で製本される．本クラスファイルを用いることで，そのような原稿を作成できるはずである．

## 2. オプション

ipsjprosym.cls では以下の二つのオプションを提供している．

- withpage: 著者が執筆上必要な場合のため，

ページ番号をつける

- english: 英語で執筆される場合にフォーマットを調整する．

## 3. 論文 1 ページ目の情報

論文の 1 ページ目には，タイトル，著者名，著者所属，概要，キーワードが配置される．それぞれ，

- \title
- \author
- affiliate
- \begin{abstract} ~ \end{abstract}
- \begin{jkeyword} ~ \end{jkeyword}

によって記述する．その後，\maketitle コマンドによってそれらの情報が配置される．

以下，通常の論文と同様の形式で記述して下さい．

---

<sup>1</sup> 情報処理学会

<sup>2</sup> プログラミング・シンポジウム幹事団

a) taro@ipsj.or.jp

b) hanako@prosym.ipsj.or.jp

## 4. まとめ

本テンプレートでは，プログラミング・シンポジウム向けの原稿を， $\text{LaTeX}$  を用いて準備する方法についてごく簡単に示した．

本テンプレートに関する質問・バグ報告は，第 56 回プログラミングシンポジウム予稿集担当（松崎公紀）[matsuzaki.kiminori@kochi-tech.ac.jp](mailto:matsuzaki.kiminori@kochi-tech.ac.jp) まで連絡下さい．

謝辞 謝辞が必要であれば，ここに書く．

## 参考文献

- [1] 奥村晴彦, 黒木裕介:  $\text{LaTeX2e}$  美文書作成入門. 技術評論社, 2013.